

令和6年度 自己点検評価についての学校関係者評価 報告書

令和7年3月29日（土） 13：00～第3回評議員会にて実施

＊令和6年3月26日（水）～28日（金）にかけて教職員で自己点検を行い、報告書（別紙参照）を作成。3月29日（土）に行われた評議員会の中で、園長から報告と説明を行い、下記の通り学校関係者評価を受けた。

◎報告書 1) 駒場幼稚園の教育目標と「大切にしていること」に基づいた教育活動を行う。
について

・報告7) で触れられている「すくわくプログラム」の取り組みなど見ると、日々の保育の中でこんなに楽しいことがたくさん行われていることにあらためて園として魅力を感じる。しかし、それが十分に知らされていないのではないか。我が子がこの様に遊べるなら、入れたいと思う保護者はきっといるはずだと思う。

・自転車の使い方などについても、あらためて保護者の具体的な声を聴くことで、園の教育方針への理解と賛同があることが明らかになる。毎日の保育の成果だと思うが、保護者の声を聴くことも大事である。

◎報告書 2) 教職員としての成長を常に志し、積極的に様々な学びや体験を積んでいく。
について

・研修は非常に大事なことである。研修の捉え方も、座学や、幼児教育分野に限らず広く考えて、外国に行ってみるというだけでも人間として貴重な経験となる。そういう、人として豊かな経験を積むことを園として、教職員に対して応援できないだろうか？

◎報告書 3) 保護者に向けて、園における子どもたちの様子を伝えたり、実際に見てもらう機会を増やすなど、子どもたちの生活と育つ姿を保護者と共有し、共通理解を深めていく。
について

・発信の方法を若い教職員を中心に活用していくとよい。インスタグラムの取り組みは慎重に行いながらも効果が大きいので、今後も積極的に運用していけるとよい。

◎保育実践の充実が評価されるものの、園児募集の成果が出ないことは園の将来にかかわる問題である。実践の充実をより積極的に対外的に発信していくことと同時に、今日の保護者のニーズを把握して、それに応じていけるよう努力が必要であろう。

以上